

園芸農業を核とした農業クラスター形成のための支援策の充実

提言 産地パワーアップ事業の継続と予算の確保

政策提言先 農林水産省

政策提言の要旨

本県を含む多くの産地では、T P P 関連対策として創設された産地パワーアップ事業を活用して、省力化機械や生産性を高める環境制御機器のリース導入、低コスト耐候性ハウスの整備など、多くの農家が意欲的に生産基盤の強化に取り組み始めたところです。

こうした動きを止めることなく、次世代型ハウスの整備や、環境制御機器等の導入を加速化し、生産基盤の強化による産地の競争力を高めるため、産地パワーアップ事業の継続と十分な予算の確保を提言します。

【政策提言の具体的内容】

生産基盤の強化を図ろうとする意欲ある農家の積極的な取り組みを強力に後押しするため、T P P 等の動向に関わらず、**産地パワーアップ事業の継続と、十分な予算の確保**を提言します。

【政策提言の理由】

- ・ 本県では、オランダから学んだ環境制御などの先進技術を本県の実情に即して確立するなど生産の拡大、販売力の向上、そして、それを支える担い手を確保し、拡大再生産の好循環につなげていくよう取り組んでいます。
- ・ そうした中、既存の園芸用ハウスに生産性を高める環境制御機器の導入や、環境制御機器を装備した低コスト耐候性ハウスの整備、労働力不足に対応した省力化機械の導入等、生産基盤の強化に取り組もうとする意欲ある農家が増えてきています。
- ・ こうした農家の機運を逃さないよう、産地パワーアップ事業を活用して、一定期間、生産基盤を集中的に強化し、競争力のある産地構造への転換につなげていくことが必要です。
- ・ そのため、T P P の動向に関わらず、担い手の積極的な取り組みを、強力に後押しする**産地パワーアップ事業の継続と、計画的に取り組むための十分な予算の確保**が必要です。